

平成15年10月14日  
原子力安全対策課  
( 1 5 - 7 4 )  
＜10時資料配布＞

## 敦賀発電所の低レベル放射性廃棄物の輸送について

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

## 記

敦賀発電所の低レベル放射性固体廃棄物を青森県六ヶ所村の日本原燃株式会社低レベル放射性廃棄物埋設センターへ輸送するため、低レベル放射性廃棄物専用運搬船「青栄丸」が敦賀発電所に入港する。

## 1. 輸送日程

平成15年10月15日 敦賀発電所 入港予定

平成15年10月18日 敦賀発電所 出港予定

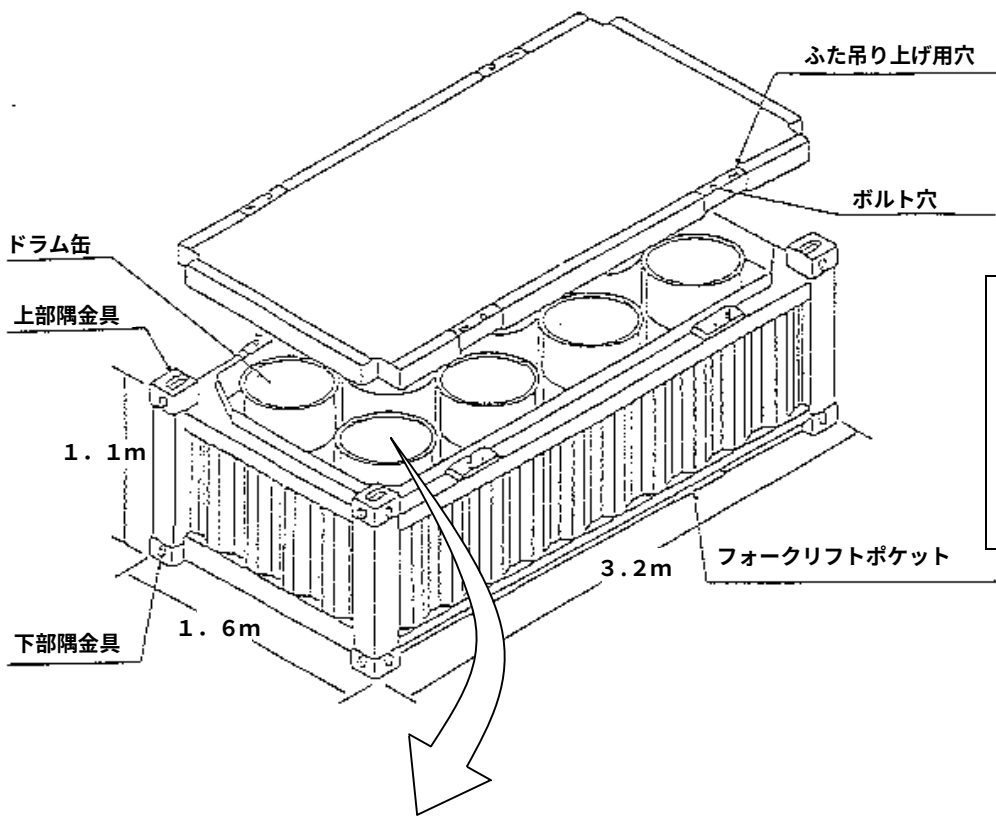
## 2. 輸送数量等

①輸送物：低レベル放射性固体廃棄物均質固化体  
(アスファルト固化体)

②輸送ドラム缶数：1， 1 1 2 本  
(200リットル)

③専用輸送容器数： 139個

低レベル放射性廃棄物輸送容器概要図

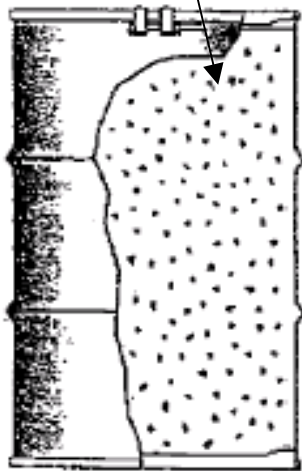


【主要諸元】

|      |                        |
|------|------------------------|
| 長さ   | 約3.2m                  |
| 幅    | 約1.6m                  |
| 高さ   | 約1.1m                  |
| 重量   | 約1トン（空重量）<br>約5トン（総重量） |
| 主要材質 | 炭素鋼                    |
| 容量   | 200リットルドラム缶<br>8本収納可能  |

均質固化体（今回輸送対象）

濃縮された廃液をセメントまたはアスファルトで固型化したもの。



均質固化体とは、原子力発電所の運転に伴い発生した廃液を濃縮処理した後、セメントまたはアスファルトとともにドラム缶内に充填し均質・均一に固型化したもの。

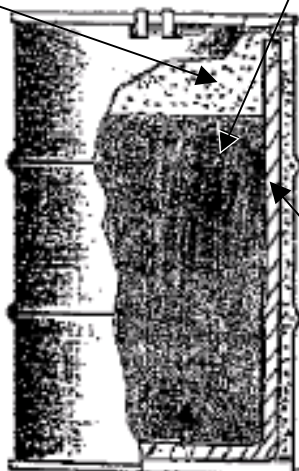
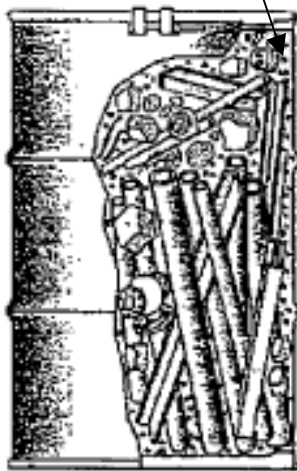
充填固化体

金属類、プラスチック類等をセメント系充填材（モルタル）で固型化したもの。

金属類、保温材、フィルタ類等を溶融処理しセメント系充填材（モルタル）で固型化したもの

セメント系充填材（モルタル）

溶融処理した固体状廃棄物



原子力発電所の定期検査時等の工事に伴い発生した低レベル放射性廃棄物であって、金属類、プラスチック、保温材、フィルタ等の固体状廃棄物を種類毎に分類し、必要に応じて切断、溶融処理を行った後、ドラム缶に収納し、セメント系充填材を充填し固型化したもの。

## 低レベル放射性廃棄物搬出の概要

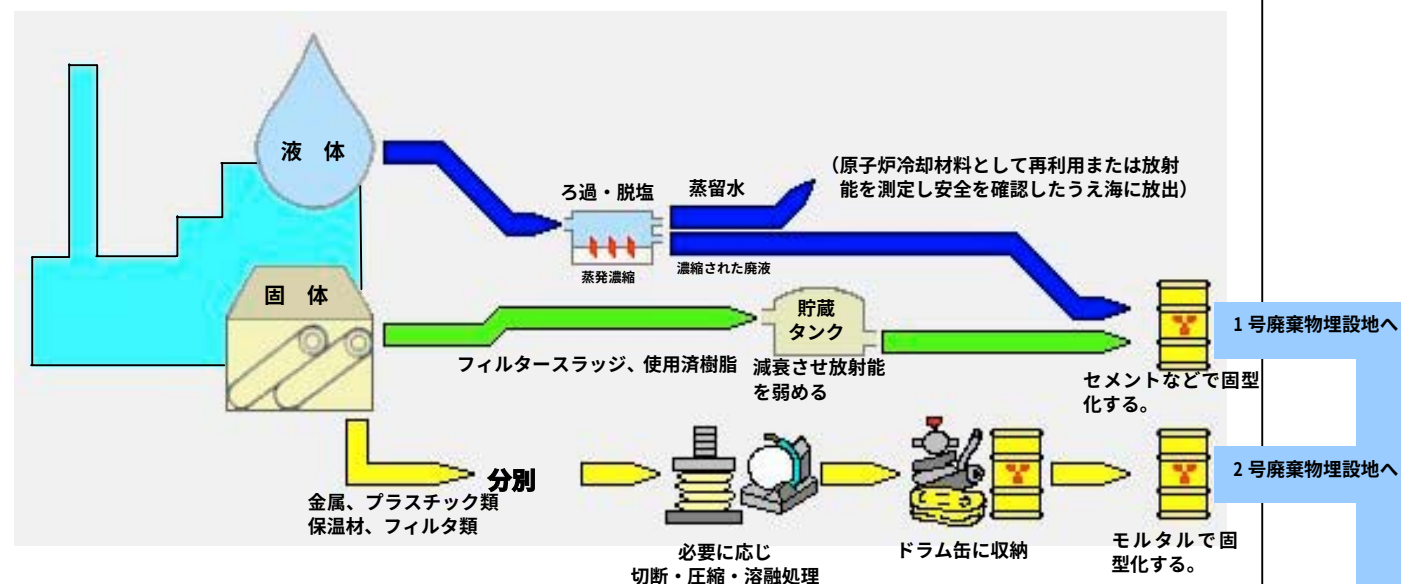
【日本原燃（株）作成資料引用】

### 低レベル放射性廃棄物

現在、六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センターへ受入れる低レベル放射性廃棄物は、原子力発電所の運転に伴い発生する放射線レベルの低い廃棄物をセメントなどで固型化したものを対象としています。

### 埋設するための処理方法

#### 原子力発電所



原子力発電所で使用した水などの液体廃棄物は蒸発濃縮処理し、セメントなどで固型化する。

原子力発電所で使用した水などを浄化するために使用したフィルタースラッジ、イオン交換樹脂は、貯蔵タンクに貯蔵し、放射能を減衰させた後、セメントなどで固型化する。

定期点検作業等により発生した金属などの固体状廃棄物は種類ごとに分別し、必要に応じて切断・圧縮処理などを行い、セメント系充填材（モルタル）で一体となるよう固型化する。



1号廃棄物埋設地には、均質固化体（均質固化体とは、原子力発電所の運転に伴い発生した廃液等を濃縮処理した後、セメントまたはアスファルトとともにドラム缶内に充填し均質・均一に固型化したもの）を、2号廃棄物埋設地には、充填固化体（原子力発電所の定期検査時等の工事に伴い発生した低レベル放射性廃棄物であって、金属類、プラスチック、保温材、フィルタ等の固体状廃棄物を種類毎に分類し、必要に応じて切断、熔融処理を行った後、ドラム缶に収納し、セメント系充填材を充填し固型化したもの）を埋設する。



専用船「青栄丸」でむつ小川原港まで海上輸送します。